

土砂災害から身を守る



ポイント

命に関わる災害
大雨情報に注意し
早めの避難を!

土砂災害は命に関わる重大な被害をもたらします。梅雨や台風などで短時間にたくさん雨が降るときには特に注意が必要です。前兆現象を覚えておきましょう。

こうして起こる！土砂災害発生のメカニズム

- 土砂災害は、大雨や融雪、地震、火山噴火によって発生します。
- 梅雨や台風などの**雨が強く降る時期**は、注意が必要です。
- 1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上**の降水量になったら十分な注意が必要です。

注目!
がけ下や山すそに住んでいる方は
特に注意を!!

前兆現象に注意してください!

土石流

長雨や集中豪雨によって、石や土砂が水と一緒に一気に下流へ流れる現象です。

- ・山鳴りがする。
- ・急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。
- ・土臭いにおいがする。
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



がけ崩れ

長雨や集中豪雨によって、斜面が急に崩れ落ちる現象です。

- ・がけから水が湧き出してくる。
- ・がけに亀裂が入る。
- ・がけから小石がパラパラ落ちてくる。
- ・がけから木の根が切れる等の異様な音がする。
- ・家や擁壁、樹木や電柱が傾く。



地すべり

地下水などが粘土のような滑りやすい地面にしみ込んで、その影響で地面が動き出す現象です。

- ・沢や井戸の水が濁る。
- ・地面にひび割れができる。
- ・斜面から水が湧き出す。
- ・家や擁壁に亀裂が入る。
- ・家や擁壁、樹木や電柱が傾く。



土砂災害発生の事例

熊本県でも、古くから多くの土砂災害が発生しています

- 最近では、平成15年の水俣市を中心とした県南集中豪雨災害(死者19名)、平成24年の阿蘇地方を中心とした熊本広域大水害(死者・行方不明者25名)により、多くの尊い命が失われています。
- 深夜の突発的豪雨と落雷により、避難行動が制約**されました。



水俣市宝川内集地区
平成15年7月20日
【県南集中豪雨災害】



阿蘇市一の宮町手野地区
平成24年7月12日
【九州北部豪雨災害：熊本広域大水害】

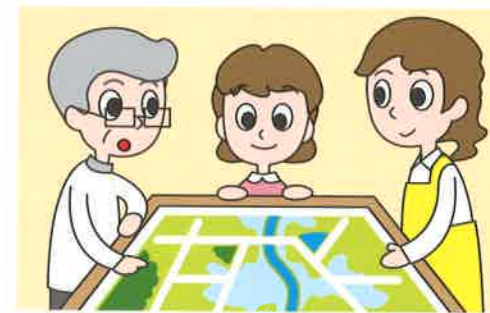
日頃の備えと早めの避難



- 日頃から、**がけから離れた部屋や2階**で過ごすことが重要です。



- 気象情報をテレビ・ラジオ・インターネット等で収集しましょう。
- 土砂災害危険度情報をインターネットで確認しましょう。



- 市町村が作成しているハザードマップを確認し、自分の家が土砂災害の危険箇所にあるかどうかを確認しましょう。
- 避難場所や避難経路を確認しましょう。



- 明るい時間帯のうちに、親類、友人宅、避難所など安全な場所への**早めの予防的避難**を行いましょう。

迷わず避難・・・

危険を感じたら、大雨警報がでたら、土砂災害警戒情報がでたら、避難勧告がでたら

深夜の集中豪雨などにより、外に出て避難ができない緊急時には

迷わず避難 すぐに避難



※土砂災害警戒情報とは、土砂災害の危険性が高まったとき、熊本地方気象台と熊本県が共同して市町村単位で発表するものです。

(八代市・天草市・山都町は、東部・西部に分割して発表)

自宅内の安全な場所への緊急避難



※自宅内の2階または山側(斜面)の反対へ避難